



岩手県立中部病院 緩和ケア

院外版

# かんわ通信

平成24年度\*第1号\*



〒024-8507

岩手県北上市村崎野17地割10番地

TEL : 0197-71-1511

FAX : 0197-71-1414



# あいさつ



当緩和ケア病棟は、病院スタッフや病院外の方々の多職種の方々、地域の市民の皆様を支えて頂くことで、『癌患者さんの生きる場所』としての役割を果たして来られました。心より感謝しております。最近気になる事は、療養中に『寂しさ』を訴える患者さんが沢山おられることです。家族を中心にした人と人との絆が希薄になっているように思います。今後緩和ケアを通じて、本来の家族の絆を取り戻すことが一つの課題と感じております。

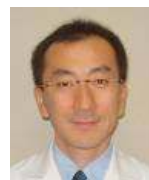
副院長  
関根 義人



年をとっても、がんになっても、安心して暮らせる町をめざして、地域のみなさんと一緒に地道な取り組みを続けていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

地域医療科長兼地域医療福祉連携室長兼  
緩和医療科長

星野 彰



無我夢中で走り続けた時間の中で、多くの患者さん、家族との出会いがあり、かけがえのない学びがありました。院内スタッフだけでなく、ボランティアの方々、地域の方々とのつながりを大切に「ここに来て良かった…。」と思ってもらえるよう、これからもスタッフ一同努力してまいります。今後とも宜しくお願いします。

病棟師長・緩和ケア認定看護師  
伊藤 ゆかり



# 中部病院＊緩和ケア紹介

## 緩和ケア病棟

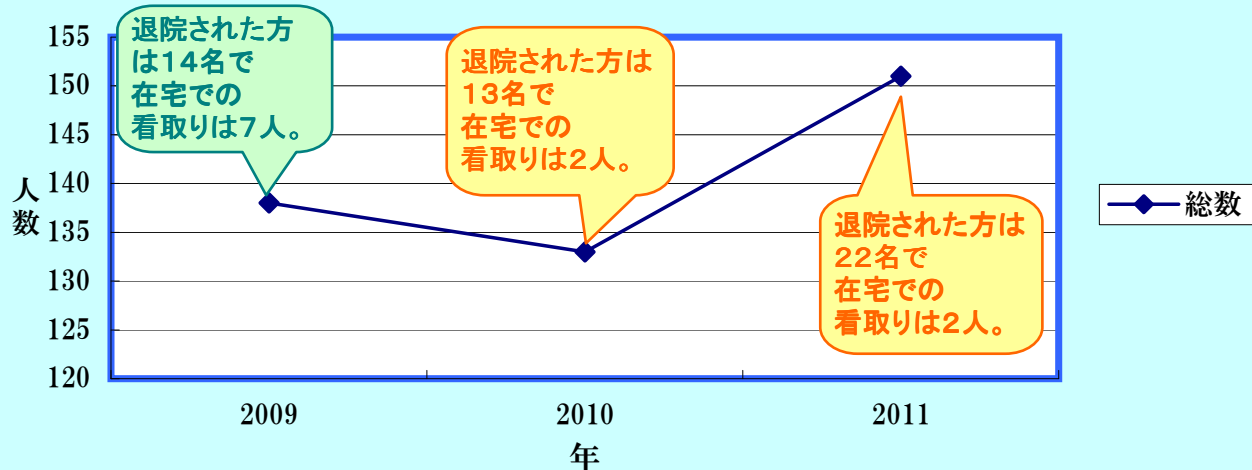
中部病院緩和ケア病棟は、地域の皆さんからの要望に応え設立されました。

『あなたの普段の生活を大切にして、あなたとご家族を支えます』をテーマに、安心して療養生活が送れるように作られています。



## 緩和ケア病棟3年間の動向（2009. 4月～2011. 3月）

入院患者総数推移



- ☆入棟者が増加しています。開棟当初は花北地区の患者さんが中心でしたが、諸事情で当科を希望される方が岩手県全域に広がり始めています。
- ☆在宅療養を支援しています。ご希望によって、ご自宅で療養された方（退院された方）は、3年間の平均で16.3人で年間入院患者総数の約20%にあたります。訪問診療や訪問看護・介護事業施設など地域との連携によって、患者さんが安心して自宅で過ごせる様にサポートしています。

## 緩和ケアチーム

当院の緩和ケアチームは、主治医・病棟スタッフからの相談を受け、直接患者さん・御家族にお会いして、身体や心の辛い症状をやわらげるお手伝いや、生活・療養先のお手伝いをさせて頂いております。  
心身の苦痛を和らげる方法や、療養先の選択等にお困りのことがございましたら、是非ご相談ください。

緩和ケアチーム・緩和ケア認定看護師  
畑山 賢



## 化学療法室

化学療法室とは、抗がん剤治療を外来通院で受けられる場所です。  
そのために、くつろいで治療を受けることが出来るようにと、平成23年9月より、患者さんのための「喫茶コーナー」を設置しました。喫茶コーナーは、化学療法患者さんの待ち時間対策や、患者さん同士の交流の場として活用していただくことを目的としております。現在は、喫茶コーナーで昼食を召し上がっていただいたり、外来化学療法オリエンテーションにも喫茶コーナーを活用しております。

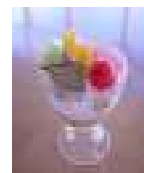
化学療法室・がん化学療法看護認定看護師  
高橋 文子



## 栄養科

毎月最後の木曜日、14:30から緩和病棟のデイルームにて飲み物とおやつのサービスを行っています。  
調理師が腕をふるう手作りおやつは絶品です！！  
毎回患者さんにも好評をいただき、その笑顔のパワーに頑張っています☆

管理栄養士 釜石 彩



## 薬剤科

現在薬剤科では以下の事を、行っております。

①処方薬の調剤と内容確認

→主治医が処方した薬剤を調剤し、内容を確認しています。

②各種製剤の調製

→医療用の麻薬注射を使う際、専用の機械に麻薬を詰める作業を行っています。腸閉塞などに使う薬の調製も行っています。

③薬品の管理

→医療用の麻薬は取り扱い上、様々な法的対応があります。

当院の医療用麻薬使用量は県内でもトップクラスです。

日々、安心・安全に薬の使用ができるようサポートしています。

薬剤師 高橋 典哉



## リハビリ科

我々は、緩和病棟で過ごす患者さんに、自分で動けるようにリハビリを行うことで、少しでも前向きな気持ちを引き出すことを目標としています。また、患者さんの願いや思いに合わせながら次の目標を立てていきます。そのため、週に1度の緩和ケアの全体会議に参加し、情報交換に努めています。また苦しむ患者さんを前にして無力感を感じている家族に対しては、苦痛軽減の方法や適切な介護方法を指導することもあります。

少しでも患者さんの思いに近づくように精神的支持を含めお手伝いできたらと考えています。

作業療法士 高橋 敏  
理学療法士 千田 寿恵  
言語聴覚士 袴田 加奈子



入院されていた患者さんの御親戚の方のご厚意によって、9月15日に口内鬼剣舞が、緩和ケア病棟前で披露されました。

一般病棟の患者さんも一緒に参加し、雄大な踊りに見入っていました。



# 緩和ケア病棟の風景 ～口内鬼剣舞～



患者さん達はとても感動してくださり、披露してくださったな  
さん、披露してくださったな  
でさん。

# インフォメーション

## 1. リンパ浮腫外来

### リンパ浮腫外来受診の流れについて

- 1、緩和ケア科で診察予約を取る。
  - ・当院通院中の患者さんの場合は院内紹介状を外来へ提出。
  - ・当院以外の病院に通院中の患者さんの場合は通院している病院からの紹介状をFAXして頂く。



- 2、緩和ケア科での診察
  - ・リンパ浮腫の診断
  - ・リンパ浮腫外来について説明
  - ・次回受診時のリンパ浮腫外来の予約
  - ・リンパ浮腫療養士によるリンパマッサージ



- 3、リンパ浮腫外来受診・リンパ浮腫についての治療について
  - ・肌の手入れ、日常生活の注意点について
  - ・自分で出来るマッサージの方法についてなどについての説明など
  - ・ストッキングの選択や装着方法についての指導
  - ・バンテージの実施、巻き方指導など
  - ・リンパ浮腫における肌の手入れ・日常生活指導・リンパの流れを良くするための体操についての説明

\*その他、ご質問等ございましたら、  
緩和ケア外来・リンパ浮腫療養士 菊池 知まで  
ご連絡ください。



## 2. がん情報サロン

♪がん情報サロン「虹」、どうぞご自由に利用下さい♪

県立中部病院 「がん情報サロン虹」 (平成21年7月22日開設)

利用できる日： 毎週月～金 9：00～17：00  
(10：00～14：00ボランティア在中)

会場： 1階 総合受付ロービー内「がん情報サロン」室

内容： ①がんに関する情報 (インターネット、パンフレット、DVD、書籍、タオル帽子)

②専門ボランティアの相談・話し相手

(相談員、看護師、患者会、薬剤師、牧師)

③患者会主催による勉強会、交流会



今更聞けない・・・「患者サロン」ってなに???

がん患者・家族が患者・家族会を越えて気軽に集い、相談や情報交換・語りができる場。他県では、勉強会や季節の行事、広報活動を行なうところもある。患者・家族会が運営し、病院や行政が支援、場所は、病院内や地域の公民館などで、週1回から数ヶ月に1回開催しているところが多いです。

### 編集後記

今回、当病院の緩和ケアに関する情報を院外の皆様へお知らせ出来ることを目標に、他部門と連携して作成いたしました。まだまだ沢山の情報をお届けしたいのですが、次号に掲載できればと考えております。

緩和病棟の広報として昨年度より不定期に、緩和ケア病棟の様子を『かんわ通信』として院内メールで発信して参りました。今年度は他職種連携をテーマに、コラム形式で季刊誌にリニューアルし発行されています。その集大成が、院外版・かんわ通信です。もっと緩和ケア・緩和病棟を知って欲しいとの思いで、院内・院外の広報活動をこれからも頑張っていきたいと思っております。

緩和ケア病棟・広報係

兎澤 香織 鈴木 智恵